



白生  
为  
随  
ち  
た  
因

H  
I  
T  
S  
U  
J  
I  
G  
O  
Y  
A  
@  
T  
A  
T  
T  
I  
B  
A  
N  
A  
Y  
U

R18  
成人向け

私の名前は  
アストロギスト・  
モナ・メギストス

「偉大なる占星術師モナ」  
っていう意味です

…が

今月もすでに  
「モラ」が底を  
つきそうです…

ライターの仕事をして  
いるとはいえ  
占星資料は高い…

このままでは  
また野生キノコ  
生活に…

占星術師としての  
知識への渴望

今月も大量の  
占星資料を手  
に入れました

これで研究も捗る  
というものです♪

ヒルチャール討伐…  
騎士団にも被害が…?

何やら物騒な依頼ですが…

背に腹は  
代えられません…

ん…?

なんとかしないと…

…油断…

決して油断してた  
わけではないのです

…でも…

きっと…たかが  
「ヒルチャール」  
侮っていたから  
起きてしまった油断…

く…っ!!

きちんと下調べを  
するべきでした!!

依頼にあった  
ヒルチャール…

奇襲したにも関わらず  
乱れない統率力…

そして何より…

ヒルチャールが  
あんな戦い方を…

人を盾にした方法を  
取ってくるなんて…!!



おそらく裏で  
アビス教団が  
先導してる可能性が  
高いのです!!

盾にされていたのは  
行方不明の騎士団員…

助けてあげたい  
所ですが  
状況が悪すぎます

悔しいですが、  
ここ何とか逃げ切って  
応援を呼ぶしかありません!!



殿下の仰った通りだ

人質を取れば  
お前たちは  
抵抗できなくなるか  
逃げ出す







逃がすなっ!!

いつの間に...!?

!!

畏!?



あの女を捕らえろ!!

!!

!!

!!

!!

!!

!!





冗談じゃないです！

こんなところで  
捕まったら

私もさっきの  
騎士団の人のように  
何をされるか分かった  
ものじゃないです！！



何とか離脱したいのに――

数が多すぎます！！

クックック...



あうっ!!



トビトビ

かはっ



これは良い獲物が  
かかった

水の  
元素使いか



捕らえろっ!!



“あ”あ”あああっ!!





反撃させるな!!

やっ!!

やっ!!

やめてください!

神の目を撃え!!

う...うば...え...!!

だめです!  
それは...!!

やだ、返して!



神の目がないと力が!!

ガッ



見る、これがなんだか  
分かるだろう?

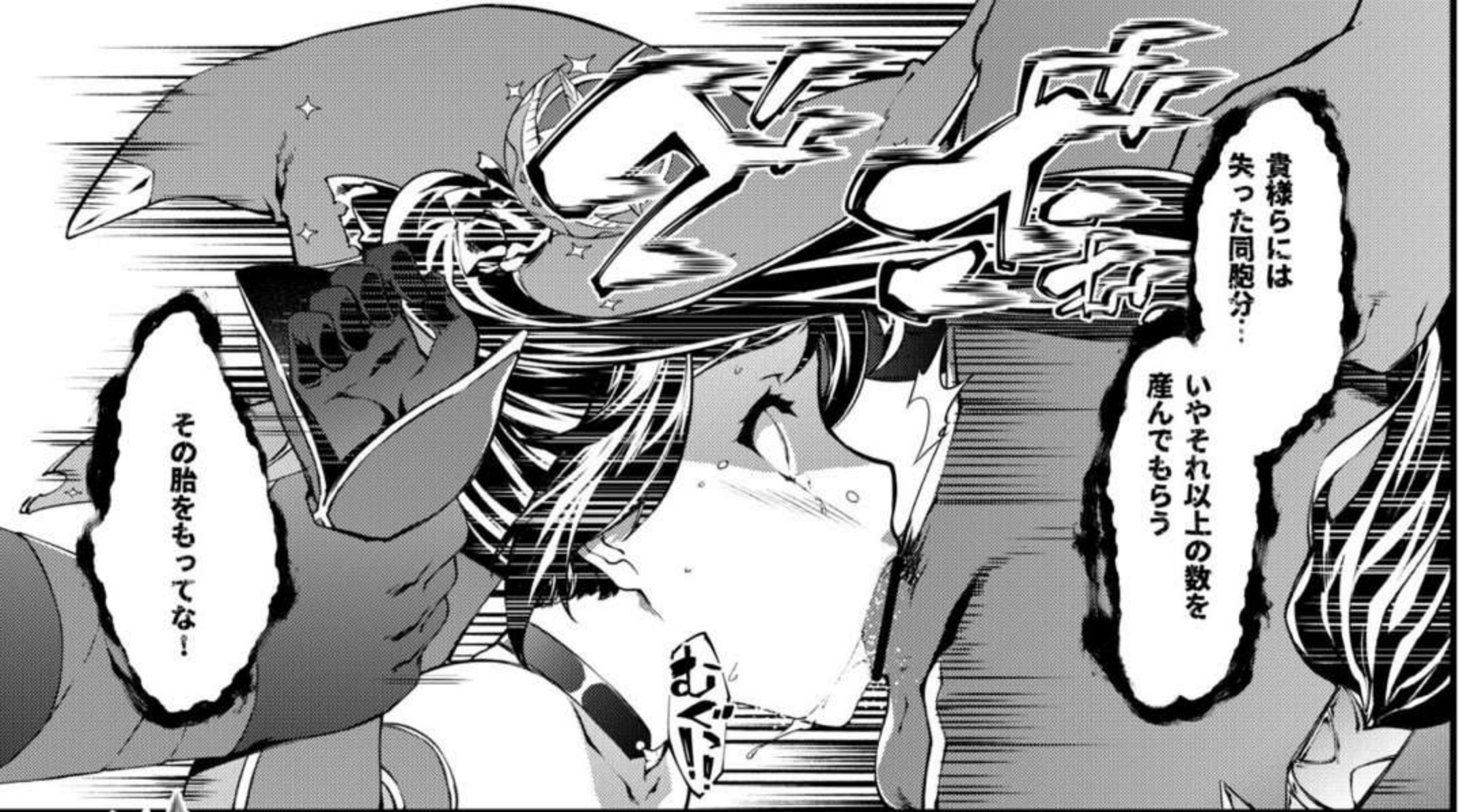
く...臭いですっ...!!

これ、まさか  
ヒルチャールの  
...性器!!

これからお前は我々の  
供物になってもらう

ガッ

ガッ



貴様らには  
失った同胞分…

いやそれ以上の数を  
産んでもらう

その胎をもつてな!



同胞の体に括り  
付けられていた  
雌たちの姿を

お前もいずれ  
あなるのだ



産む?!

見ただろろう?!

こいつらの目的は  
私たちを使った繁殖?

私がかいつらの  
子供を?!

わっ!!

わっ!!

わっ!!



出る？

キラッ  
キラッ  
キラッ

で……テル……

それって  
まさか……!!

キラッ  
キラッ  
キラッ

キラッ  
キラッ  
キラッ

キラッ  
キラッ  
キラッ

キラッ  
キラッ  
キラッ

き……汚い……



これが……  
ヒルチャールの  
精液……!!

すごく  
ネバネバしてます



こんなに濃いのを  
出されたら…

Booo

いやっ！

放してくださいっ！！

しっかり押さえている！

暴れられても  
面倒だからな！



無理やり、アソコが  
広げられて…！！



アソコに指が…

ひ…っ



あああああっ！！

いたっ  
痛い…っ！！

初物か…  
クックック

裂けちゃいますっ！！



これから何百、何千回と  
我ら同胞の  
捌け口となる穴だ

念入りにほぐしておけ

やめ……っ

やっ



準備は出来たようだな

ふむ……



さっさと  
さっさと



ひっ!!

ヒヒヒっ同胞の槍が  
貴様の純潔を奪う

嫌ですっ!!

やめてくださいっ!!

だめ!  
体に力が  
入らない……!!

こんな所で...

お願いしますっ

やめて...

やめ...

ヒルチャールに  
私が...犯される...!!

その痛みを体た  
刻み付けるがいら

嫌あああああ!!

あ...

あ...

あ...



ああっ！

いたっ！！

あぐっ！！

普段持る側が  
持られる側に  
なった気分はどうだ？

悔しいだろう！！

痛い…！！

ビルチャールが  
汚いおちんちんが  
私の膣内を出入りして…

奥を叩いてきてます！！

お前たち  
後ろも使ってやれ

いい声で鳴いてくれるぞ

ひ……き……

かはっ

ひっ!!  
そっちは……っ

違う!  
違う穴です!

そんな太いの  
入りません!







急に早く…

まさか!?

待って、中は!

膣内だけはだめです!!



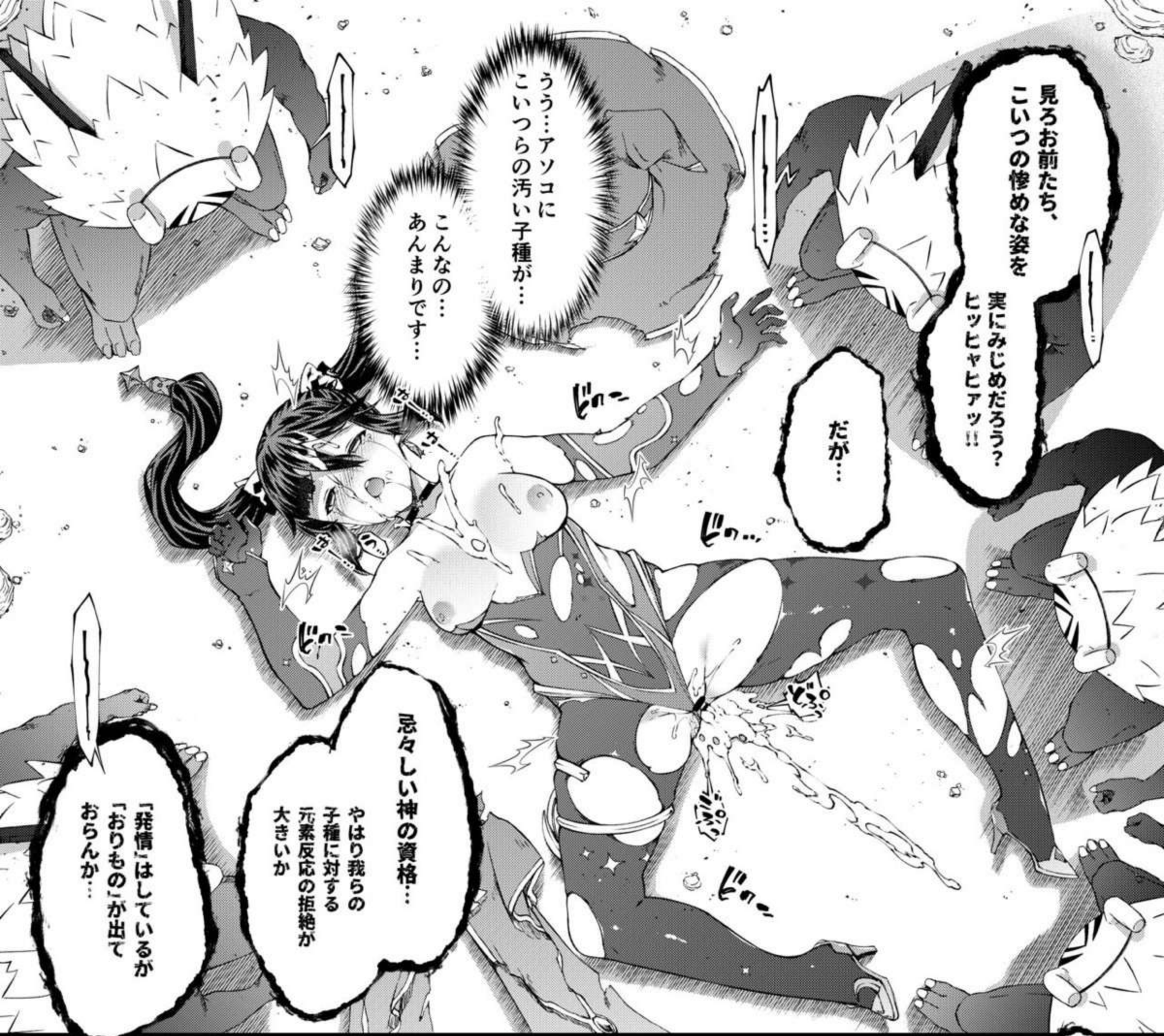
お腹がいっぱい…

くるしい…です…!!



こんなの…  
嫌あああ…





見ろお前たち、  
こいつの惨めな姿を

実にみじめだろう？  
ヒッヒャヒャッ!!

だが…

うう…アソコに  
こいつらの汚い子種が…

こんなの…  
あんまりです…

忌々しい神の資格…

やはり我らの  
子種に対する  
元素反応の拒絶が  
大きいか

「発情」はしているが  
「おりもの」が出て  
おらんか…

もっと強制的に…

…早く逃げないと  
本当に妊娠して…

おお、そうか  
丁度お前の手が空いたか

ヒッ  
丁度良かったな



以前もお前のような  
活きの良い獲物がいてな

貴様と同じ「原神」

「神の目」の所有者だ

こいつは  
そいつを孕ませて  
作った個体…  
言わば「亜種」

あ…あああ……

こいつの繁殖力は  
すさまじいぞ？

貴様らのような  
資格者だろ？と  
難なく孕ませる  
ことができる

何せこいつと  
交尾した雌は  
途中から抵抗することを  
諦めるからなあ

願いを捨て、自ら孕み袋に  
なることを懇願し

子袋は元素反応を  
起こしながら  
孕み、その資格を失っていく

ひっ……り？

うそ……り？

こんなの…  
どう考えても  
入るわけ…

ヒッヒッヒ  
どうだ、貴様の  
腕くらいあるだろう？

これが今から  
貴様の中に入る

同胞の子種で  
しっかりと情らして  
おいたとはいえ…

大抵のメスは  
壊れるか使い物に  
ならなくなるが…

お前はぐいまでせうかな？



あ…!!

あぐっ!!

裂け…ちやい…ます…っ

やめ…

やめて…

やめ…

やめ…



おっきき...すきき...る...

おん



大きい…なんて  
ものじゃないです…



衝撃が子宮を…内臓を…



も…  
…やめ…

—全部



突き抜けてくる—!!

「あっ」あ「あっ」!!

こんなの……っ  
おがじくなるっ!!

アソコ……っ

壊れ……る……っ  
壊れてしまいますっ!!

今まで何人もの  
メスの胎を犯し  
孕ませてきたのだ

他の雌同様すぐに  
子種を求め喘ぐ  
体になる

テ……ル……

テル……!

ガアアアアアアアアアアアッ!!



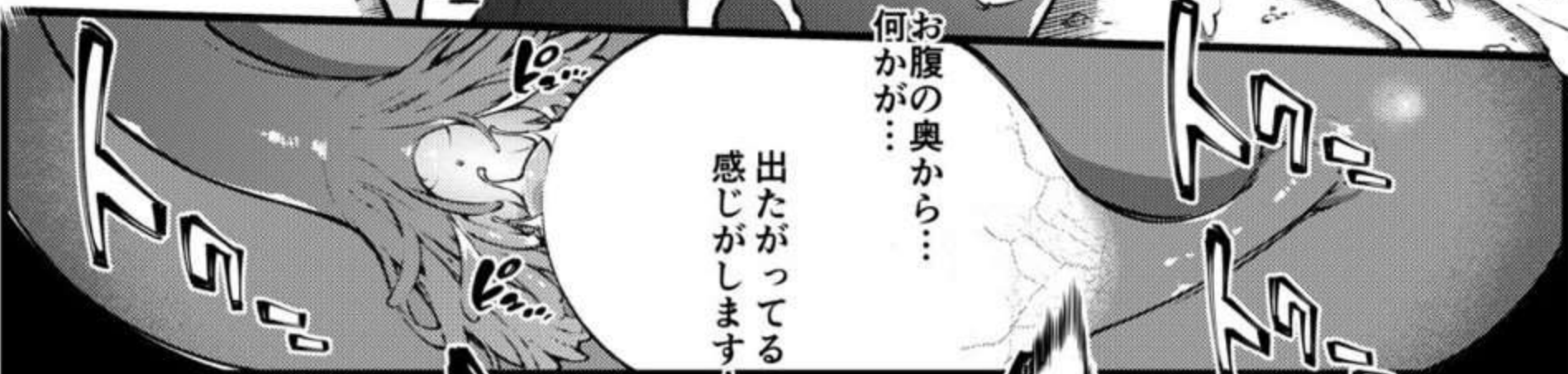




ようやく大人しく  
なったか

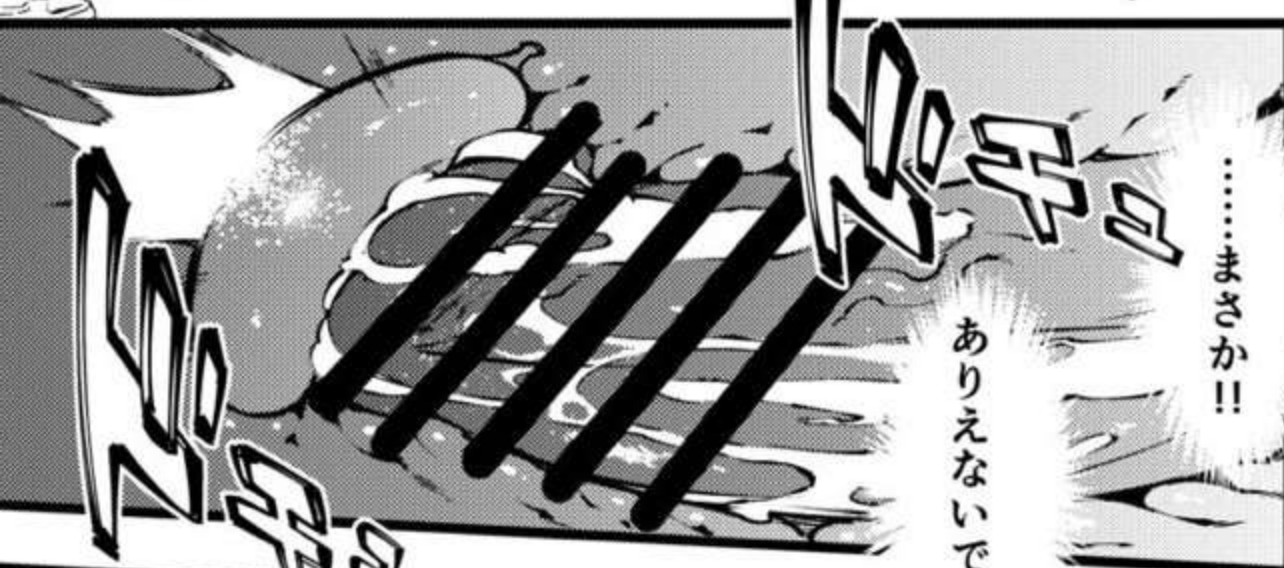
クッククック...

それにアソコが  
痺れて...動けない...



お腹の奥から...  
何かが...

出たがってる  
感じがします...



.....まさか!!

ありえないです!



もし私の感が当たって  
いるのなら!!



これって...



キキ...



そうだ、もっともっと  
お前たちの  
子種を浴びせてやれ

間違い…ないです!!



この犯されるたびに  
下半身に走る感覚…



排…卵…っ!!



排卵が始まろうとしてる!!

体が受精の  
準備を始めています…!!

何とかしないと…

もう許し…て…っ!!

あそこ…  
いっぱい…  
これ以上は…

ウ…ウル…サイ!!

何とかしないと!!

デ…テルツ!!

う…あ…あ…

待って!!

だめっ

やっ!!

本当にこいつらの  
赤ちゃんを  
身籠ってしまいます!!

貴様の下の口は  
我らの子種をうまそうに  
飲み込んでいるではないか

ああ…また中に…  
ううう…



何としても...  
ここから...

逃げ...

あ...

大型...!!

まだ反撃のチャシスを  
狙ってたとはな

大人しくしておれば  
良かったものを

しかも2体...

小さい等では物足りんか  
クッククク  
そうかそうか...

これ以上  
出されたら  
本当に...

ならばその腹を  
挟られながら  
孕むがいい!!

孕んでしまう——っ!!



あああああつ!!

やあつ!  
誰か助け...

ひぎっ!!

感じるぞ...  
お前の胎の元素

「排卵」したようだな  
クッククック!!

なら我らの欲望の種を  
防ぐ手立てはもうない!



さあお前たち、  
その雌の  
子宮は墮ちた!

トドメを刺してやれ!



彼らの子種は瞬く間に  
私の膣内を焼きながら  
子宮に流れ込んで  
きました…

灼熱のマグマの  
ように濃い子種は

瞬く間に私の卵子に  
群がってきました

下腹に感じた  
感覚…

「元素反応」

それは占星術師と  
しての終わりを  
告げたのです





ゴウオオオオオ

強大な力を持つ  
ヒルチャールの集団が  
モンドを襲撃

しばらくして…

騎士団の抵抗も  
空しくモンドは  
陥落…

子宮が…  
命を宿せなく  
なるその日まで

男達は皆殺され  
女達は彼らの慰み者と  
なっていたのです

クッククック

より強い個体を  
産み堕とす苗床として  
私は今も森の奥で  
淫らな声を上げています

そして—

オ  
オ  
オ

——星は今日も

孕み墮ちる——





## あとがき

お久しぶりです橘由宇です  
去年の冬に出せなかった原神本。  
ようやく出すことができました…

もう時期はかなり過ぎたかなと思ってはいますが、  
何とか完成出来てよかったです。

それにして、グラブルといい原神といい  
服装が細かい細かい…  
次回からはオリジナルにも  
挑戦しようかなと思っております。

FanboxやFantiaなどで二次創作は  
引き続きやっておりますので  
ぜひ見に来てください。

ちょっとページ余ったので  
ヒルチャールさんにボロボロに犯されて  
無事受精した甘雨さん置いときますね

それでは皆様また次の機会で！



2023  
8.13



著者

橘 由宇

twitter

/tatibanayu

Fanbox

<https://tatibanau.fanbox.cc/>

Fantia

<https://fantia.jp/fanclubs/52641>

かがやひろし様

印刷

大陽出版株式会社様

初版 2023/8/13

未成年者の購入

または転載、転売を固く禁じます

インターネットへの

不正なアップロードや

無断転載を禁じます